

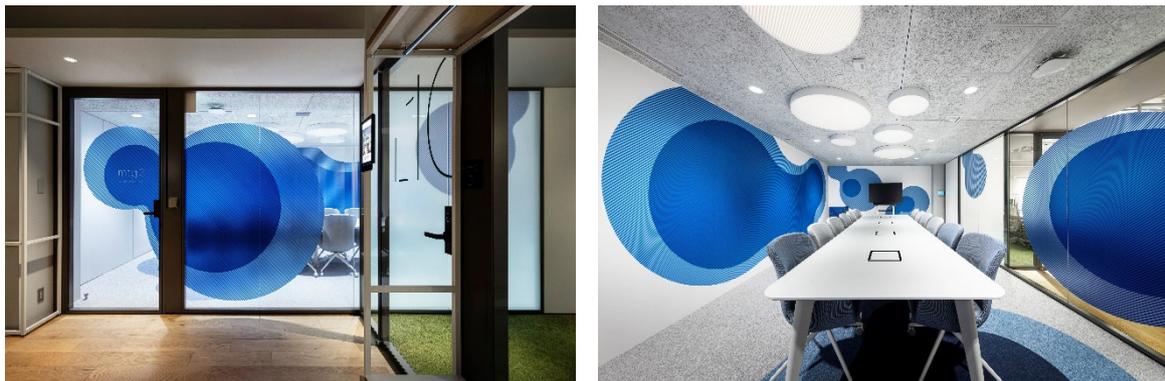
NEWS RELEASE



2023年6月7日
株式会社丹青社
株式会社 point0

丹青社と point 0、カーボンニュートラルを目指し オフィス改装のカーボン・オフセットを実施 既存の会議室を『カーボン・オフセットルーム』としてリニューアル

商業施設・文化施設などの空間づくりを行う株式会社丹青社（本社：東京都港区、代表取締役社長：小林統、以下「丹青社」）と株式会社 point0（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：石原隆広、以下「point 0」）は、カーボンニュートラル(※1)の実現に向けて、point 0 が運営する会員型コワーキングスペース『point 0 marunouchi』の会議室リニューアルにおいて、排出される CO2(10t※2)のカーボン・オフセット(※3)を実施します。本取り組みにより、空間づくりに伴う CO2 排出量を削減し、環境負荷の軽減を目指します。



point 0 marunouchi 内 「カーボン・オフセットルーム」

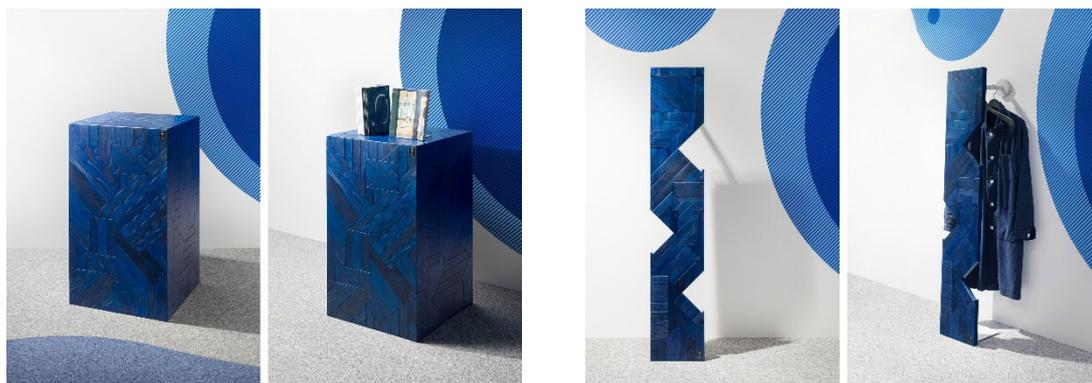
■ 取り組みの概要

世界的課題である気候変動への対策の一環として、企業においても世界全体のカーボンニュートラルの達成を目指した積極的な取り組みが広がっています。丹青社と point 0 もこの趣旨に賛同し、両社の活動による CO2 排出量を削減・オフセットすることで、地球環境への影響を最小限に抑え、「脱炭素社会」の実現に寄与する取り組みを進めています。

「未来のオフィス空間」を実現していくためのコワーキングスペース『point 0 marunouchi』の会議室改装にあたり、両社はオフィス空間づくりにおけるカーボンニュートラルの実現を目指し、CO2 排出量の少ない内装材、家具の採用のほか、空間づくりで生じる廃棄物をリサイクルによって減らすことで、CO2 排出量の削減を進めました。また、協創・共創のためのコンソーシアム『point 0 committee』に参画するダイキン工業株式会社が提供する、IoT を活用した空調管理システム「DK-CONNECT」を導入し、空調の運転状況が見える化し、空調の効率的な運転を行うことで施設運営において発生する CO2 排出量の削減にも貢献します。

加えて、さらなる環境負荷低減のため、会議室改装に伴う CO2 排出量に基づき J-クレジット制度(※4)を活用したオフセットを実施しました。

なお、室内の家具には、この部屋のコンセプト『見えない“何か”のカタチ』に合わせて特別にデザインした FSC®認証規格に適合する家具 (※5) として、「サイドテーブル」および「コートハンガー」を設置しています。「カーボンニュートラル」という実際に目には見えない課題の解決に向けて、空間のインテリアやプロダクトという目に見えるものを通して施設利用者の環境意識向上および情報発信・共有の場として活用します。



左：サイドテーブル、右：コートハンガー。どちらも FSC®認証木材を緻密に組み合わせて製作している。

■ 今後の取り組み

丹青社は、今回の会議室改装におけるカーボン・オフセット実施で得られた知見を通じて、空間づくりや施設運用における環境負荷の低減の取り組みを継続的に進めてまいります。また、point 0 や『point 0 committee』参画企業と連携し、取り組みの拡大に努めてまいります。

point 0 は、既存施設の改修や今後手掛ける新たな施設での環境負荷低減の取り組みを進めていくと同時に、運営する各施設の混雑状況や施設稼働状況に応じた空調制御を中心とする、環境負荷低減に取り組んでまいります。point 0 が蓄積してきた施設運営ノウハウと、『point 0 committee』企業の知見を掛け合わせる協創を推進し、サステナブルな未来に貢献してまいります。

- ※1 カーボンニュートラル：温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させ、全体として温室効果ガスの排出量をゼロとすることを言います。
- ※2 今回の改装においては、約 10t の CO2 が排出されます。算出範囲としては、改装に際して調達した製品の原材料～製造段階および運搬にかかる排出と改装工事作業にかかる排出を考慮しています。これは、スギの木約 700 本分が 1 年間に吸収する CO2 量に相当します (杉の木 1 本の CO2 吸収量を、14kg CO2/本・年と想定した場合)。排出量算定は、サプライヤーからの提供値と、自社算定結果に基づいて算定しています。自社算定においては、原単位データベースとして IDEA を使用しています。
- ※3 カーボン・オフセット：日常生活や経済活動において避けることができない CO2 等の温室効果ガスの排出について、まず排出量を認識し、できるだけ排出量が減るよう削減努力を行い、どうしても排出される温室効果ガスについては、排出量に見合った温室効果ガスの削減活動に投資すること等により、排出される温室効果ガスを埋め合わせるという考え方です。
- ※4 J-クレジット制度：省エネルギー機器の導入や森林経営などの取り組みによる、CO2 などの温室効果ガスの排出削減量や吸収量を「クレジット」として国が認証する制度です。本制度により創出されたクレジットは、低炭素社会実行計画の目標達成やカーボン・オフセットなど、様々な用途に活用できます。
- ※5 FSC®認証：責任ある森林管理を世界に広めることを目的とする国際的な非営利団体「Forest Stewardship Council® (森林管理協議会)」が規定する「適切な森林管理」を認証する森林認証制度。環境・社会・経済のバランスのとれた 10 の原則、70 の基準に基づき森林管理を審査、認証する『FM 認証』、林産物の加工・流通プロセスを対象とする『CoC 認証』があります。丹青社は 2022 年 7 月に本社において、『FSC®-CoC 認証』(FSC®-C179924) を取得しています。

■ 丹青社について

「ここを動かす空間創造のプロフェッショナル」として、店舗などの商業空間、博物館などの文化空間、展示会などのイベント空間等、人が行き交うさまざまな社会交流空間づくりの課題解決をおこなっています。調査・企画から、デザイン・設計、制作・施工、デジタル技術を活かした空間演出や運営まで、空間づくりのプロセスを一貫してサポートしています。

社名 : 株式会社丹青社
所在地 : 東京都港区港南 1-2-70 品川シーズンテラス 19F 〒108-8220 (本社)
創業 : 1946年10月
資本金 : 40億2,675万657円 (2023年1月31日現在)
上場 : 東京証券取引所プライム市場 (証券コード: 9743/業種名: サービス業)
URL : <https://www.tanseisha.co.jp>

■ point 0 について

「働く」を再定義する協創/共創のためのコンソーシアム

point 0 は、「働く空間の価値」を創出するオープン・イノベーションの加速化を目的に 2019年2月に誕生しました。「未来のオフィス空間」を実現していくためのコワーキングスペースであり、実証実験の空間として「point 0 marunouchi」を運営しています。2023年3月現在、プロジェクトに参画する企業は 18社に上り、協創/共創の輪が広がっています。また、理想的なソロワーク環境を整備した「point 0 satellite」も運営しています。

社名 : 株式会社 point0
所在地 : 東京都千代田区丸の内 2-5-1 丸の内 2 丁目ビル 4F
設立 : 2019年2月
資本金 : 5億9,360万円 (2022年10月/資本準備金含む)
URL : <https://www.point0.co.jp/>

<リリースに関するお問い合わせ先>

●丹青社へのお問い合わせ

株式会社丹青社 広報室 担当: 石綿、寺戸
Tel: 03-6455-8115 Fax: 03-6455-8220 Mail: pr-staff@tanseisha.co.jp
お問い合わせフォーム: <https://www.tanseisha.co.jp/contact/pr>

●point0 へのお問い合わせ

株式会社 point0 広報担当: 吉岡
Mail: contact@point0.co.jp

※ニュースリリースに掲載された内容は発表日現在のものです。

その後予告なしに変更されることがありますので、あらかじめご了承ください。